

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

本体(外側・内側)のお手入れ

ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンに含ませて洗った後、水洗いしてください。
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

せんユニット

せんユニットは丸洗いでできます。スポンジで洗ったあと、水洗いしてください。
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

パッキン

パッキンをふた、せんから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

⚠️ お手入れ上の注意

- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体やせんユニットの煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 本体・せんユニットの浸け置き洗いはしないでください。
- せんユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。
お手入れなどで、ふたパッキンやせんパッキンを取りはずしたあとは、正しく取り付けてください。

ふたパッキン

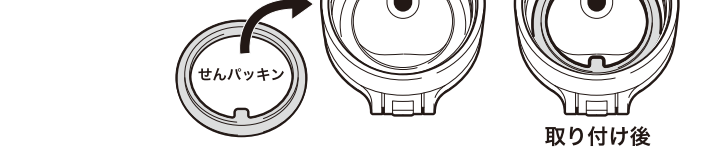
ふたパッキンをふた裏の中央部分の形状に合わせて取り付けてください。

＊パッキンの内側の凸をふた裏中央部分の隙間に合わせて取り付けてください。



せんパッキン

せんの飲み口を下にしてパッキンをはめ込んでください。
指で押し、浮いていないことを確かめてください。



●せんユニット、パッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用を止め、部品交換してください。

赤い斑点・ガラガラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ガラガラしたものが付着した場合には...

サビのような赤い斑点ができた場合

水分に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。
食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ガラガラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、せんユニットを取り付けず、3時間程放置した後に柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

製品仕様

材料の種類		実容量	保温効力
本 体	内びん／ステンレス鋼	0.37L	56℃以上(6時間)
	胴 部／ステンレス鋼	0.52L	62℃以上(6時間)
	(アクリル樹脂塗装)	0.64L	66℃以上(6時間)
	口 金／ステンレス鋼	0.77L	70℃以上(6時間)
ふ た ・ せん	ポリプロピレン		
プッシュボタン	ABS樹脂		
安 全 ロ ッ ク	ポリプロピレン		
パ ッ キ ン	シリコーンゴム		

＊保温効力とは室温20℃±2℃において製品に熱湯をせんユニットの下端まで入れ、湯温が95℃±1℃になったとき、せんユニットをして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

＊実容量とは、せんユニットまでの全容量です。ご使用の際は取扱説明書をご確認のうえ、適切な量を入れてご使用ください。

表示者 株式会社アトラス
〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
https://www.atlas-scm.jp/

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お問い合わせの販売店までご連絡ください。



SWITCH MUG BOTTLE

ステンレスワンタッチマグボトル

取扱説明書

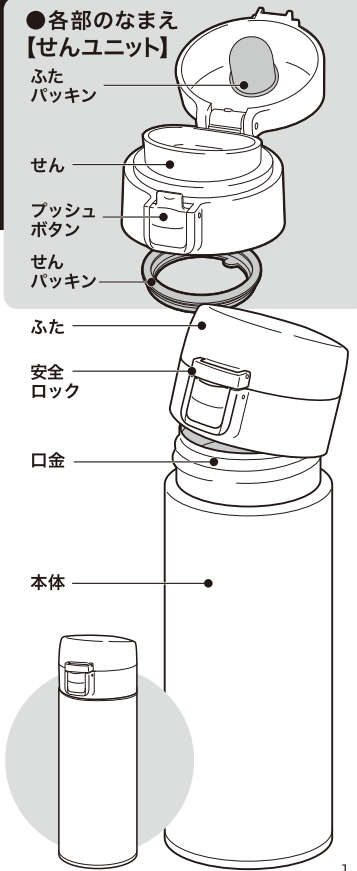
AWシリーズ

このたびは、当社のステンレスボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。
また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときに後役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

ご使用の前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、せんユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールは、はがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・せんユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

※説明中のイラストは実際のもものと異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。



△ ご使用上の注意

- △ 注意**
- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。
やけどの原因となります。
 - 飲みものの保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。
 - 熱い飲みものを入れて本体外側が熱くなったり、冷たい飲みものを入れて結露する場合は、構造に不具合のある可能性がありますので使用しないでください。

- 熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ずお守りください。
 - 熱い飲みものを入れても本体外側は断熱効果により熱くはなりません。
熱くなる場合は使用しないでください。
 - 傾けた状態、または顔を近づけた状態でふたを開けないでください。
内圧が上がり、飲みものが急激に出たり、飛散したりしてやけどの原因になり危険です。
 - 本体を急に傾けないでゆっくりと飲んでください。
急に傾けると、飲みものが勢いよく出てやけどなどの原因になり危険です。

- センユニットを必ずはずしてから飲みものを入れてください。
センユニットを付けたまま熱い飲みものを入れると、飲みものが飛散してやけどの原因になり危険です。

- 飲みものの量は、取扱説明書4ページ右下の図を参考にしてください。
入れすぎるとセンユニットが開かなくなったり、閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。キズや溢れる原因となります。

- ふたパッキン、センパッキンが正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。
取扱説明書7ページを参考に正しく取り付けてください。飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。ふたパッキン、センパッキンの取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。

- センユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
飲みものが溢れ出す原因になります。また漏れて、やけどやものを汚す原因になり危険です。

- センユニットが確実に閉まっていることを確認してください。
閉め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

- ストープやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形や変色の原因になります。

- 電子レンジで加熱しないでください。火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

- 冷凍庫には入れないでください。

- 本体の口金に熱いやかんなどをあてないでください。
口金の変形・キズ、転倒してやけどなどの原因となり危険です。

- 飲み終わったら、本体を立て、ふたを確実に閉めてください。
安全ロックを確実に閉め、本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。

- 飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

- 製品の構造上、湿度が高いときにふた・センに水滴がつく場合があります。ご注意ください。

- 次のものは絶対に入れないでください。

- アルコール類
- ドライアイス・炭酸飲料水
- 内圧が上がり、センユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、センユニットが破損して飛散することがあり危険です。
- 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
- 成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふた・センが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、センユニットが破損して飛散することがあり危険です。
- みそ汁、スープ、スポーツ飲料など、塩分や酸を多く含むもの
- 本体にはステンレス鋼を使用していますが、塩分や酸によりサビの原因になります。
- お茶の葉・果肉
- すきまなどにつまり、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

- においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
お手入れのしかたに従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

- 飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふた、センが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、センユニットが破損して飛散することがあり危険です。

- お茶などは早めにお飲みください。
長時間保存するとお茶の色や味が変わります。

- 落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。また、ふた・センの破損原因になります。

- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。
破損、事故の原因となり危険です。

- バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。
万一の漏れを防ぎます。

- パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

- 持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

- 持ち運ぶ際は、次の点を必ず守ってください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

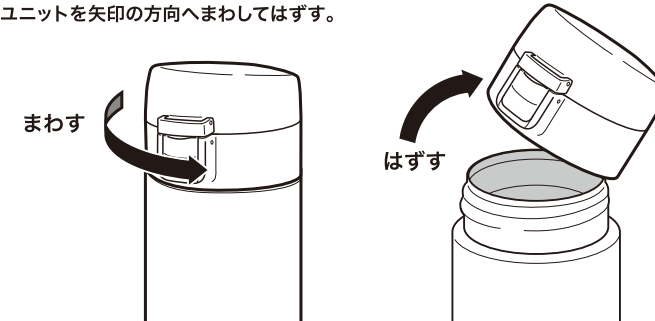
- 運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、はずれて落下のおそれがあります。

ご使用方法

- ご使用の前に**
- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
 - 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

1 センユニットをはずす

センユニットを矢印の方向へまわしてははずす。

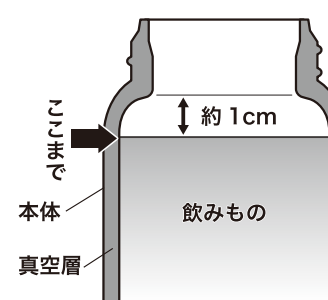


2 飲みものを入れる

飲みものの量は、右図 → 部までにしてください。入れすぎるとセンユニットを閉めたときに中身が溢れる場合があります。入れすぎた場合は、減らしてから、センユニットを閉めてください。

※あらかじめ、本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度置き、予熱(予冷)してから入れ替えると保温(保冷)に効果的です。

※熱い飲みものを入れた直後は、数十秒置いてからセンユニットを取り付けてください。

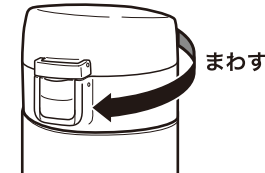


3 センユニットを閉める

センユニットを矢印の方向へまわして閉める。

※熱い飲みものを入れた場合、噴き出ることがあります。絶対に振るなどしないでください。

※センユニットが開きにくくなった場合は、やけどに十分注意して必ず本体を立てた状態で布(タオルなど)をあてて、ゆっくりと開けてください。



4 ふたを開けて飲みものを飲む

- ① 本体を立てた状態で安全ロックを上げる。

- ② プッシュボタンを押してふたを開け、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。



5 飲み終わったら

- ① 飲み終わったら、本体を立てふたを閉める。

- ② 安全ロックを下げて、ロックする。

